

TSUNA・綱

2026
春号



つなひきスクール特集 広島／群馬／静岡

つなフェス「それ引け！つなひきスクール」

トピックス

峠の国盗り綱引合戦／JSPO 公認コーチ1養成講習会／
地方連盟活動報告 etc.

スポーツくじ



すべてのスポーツにエールを

スポーツくじの収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。



スポーツ振興基金助成事業
独立行政法人日本スポーツ振興センター



石井会長 ごあいさつ

2026年丙午の年、皆様ご健勝で新しい年を迎えた事お喜び申し上げます。丙午年は(勢いとエネルギーに満ちて活動的になる)年と言われております。

丙(ひのえ)とは陽や火の意味をもち明るさや熱を表現すると言われております。派生し、万物全てに分け隔て無く情熱を与える役割や、生命の力強い成長段階を意味することから、転じてリーダーシップや強い行動力を象徴するとも言われています。

午(うま)とは餅をつく道具(杵、きね)の形に由来し、交互に打つ動作から交差、切り替えを意味すると言われております。古来より人が生活するうえで馬が重要な存在であったことから、健康や豊作を象徴するとも言われています。

即ち2026年丙午の今年全国各地の綱引競技にかかる全ての人が(オーエス)と言う掛け声と共に大声でこの一年間一致団結し、今自分は何をすべきか考えて、全力で頑張りましょう。

そして綱引の日本文化を継続していく魅力をお互いに切磋琢磨して日々頑張りましょう。心より祈念し挨拶と致します。

公益社団法人 日本綱引連盟
会長 石井 良之

全日本
告
知

2026全日本綱引選手権大会 開催!

日 時：2026年3月1日(日)

場 所：駒沢オリンピック公園総合運動場体育館にて

日本綱引連盟公式ホームページにて詳細をご確認ください！



10月26日(日)静岡県と長野県の県境・ヒョー越峠にて『第35回峠の国盗り綱引き合戦』が開催されました。

兵越峠(ひょうごしどうげ)は静岡県浜松市天竜区と長野県飯田市の間にある標高1150mの峠。

この県境で毎年、繰り広げられる綱引き大会で、勝った方には非公式ですが領土を1m広げができるというユニークな県境をめぐっての国盗り合戦です。

静岡県は浜松市天竜区水窪町(みさくぼちょう)、長野県は飯田市南信濃地区(旧南信濃村)の両商工会の青年部から精銳を選出。1チーム15名による綱引き3本勝負です。



【第35回 峠の国盗り綱引き合戦】

遠州軍は1本目・2本目ともに2分勝負となり、見事2-0で勝利！領土を1メートル奪還しました！(後3m負けています)

会場となる峠には「国境」の看板も立っていますが、もちろんシャレ。

「告 この標識 国盗り綱引き合戦に於て定めた国境である行政の境に非ず」と記された表示があるのもご愛嬌。

昭和62年に始まったこの国盗り合戦、当初は観光客もなく、兵越峠付近の道路で藤づるのロープを使用して実施していましたが、

今では「綱引き広場」が築かれるほど定着。

商工会の女性部がバザーや地元の物産店を出店するほどまでに成長しています。





2025年度JSPO公認コーチ1養成講習会

スポーツ指導育成委員会

2025年のコーチ1養成講習会の4日間の講義も終了し、あと少しで新たに14名の指導者が誕生します。

私がコーチ1指導者資格を取って11年になるけれど、最近は人の繋がりに感謝することが多くなりました。こども達の笑顔に触れ、綱引きを理解しようとぶつかってくる思いに苦笑したこともあります。

そして繋がって、繋がって高校生に綱引きの授業を引き受けことになったことで覚えの悪い頭をフル回転することになりました。授業の最後に「綱引きに恋してるんだ」と言わされたとき、あらためて「胸キュン」しました。

「言葉は形にできるけれど、心はそうはいかない。だからどんな形であれ丁寧に紡ぐこと。そうすれば届く言葉に心も乗せることができる」とある本に書いてあったことを思い出しました。

指導者資格をお持ちの皆さん。たくさんの繋がりと、たまに胸キュンしてください。そして、これから資格を取ろうと思う皆さんは新たな繋がりを期待して受講してください。私たち指導者育成委員会は、誠心誠意お手伝いします。

育成委員長 木村 博美



受講者からの感想

コーチ1養成講習会を受講して

八ヶ岳TC 大柴 慶一

コーチ1養成講習会って、なんで必要なの?マイナー競技だから、そんな講習会いらないんじゃないの?正直、「面倒くさい!」って思ってしまったのは、私だけでしょうか。

綱引を続けていく中で、なんとなく「必要なんだろな…」とは思っていました。でも、正直“本当の意味”までは分かっていませんでした。

ですが、私たち選手の思いは、大好きな綱引という競技を(練習は辛いけど)もっと多くの人に知ってほしい。見てもらいたい。応援してもらいたい。と心の奥底に思っているはずです。

だからこそ、競技として強くなるのはもちろんですが、組

織として強くならなければ、この競技は世の中に認めてもらえないのだと思います。

たとえ、綱引の競技が盛り上がったとしても、「コーチがない」「ユニフォームはバラバラ」「ルールや考え方も地域によって違う」こんな状態では、国スポの正式種目、ましてや、オリンピックの正式種目なんて夢の夢なのではないでしょうか。

コーチ1養成講習会を受けて、そんなことを感じ、学び、不思議とやる気が湧いてきました。そして何より、一緒に受講した仲間とつながれたことが一番嬉しかったです。



受講者からの感想

コーチ1専門講習を受講して

糸島かみなり女 川上 美由紀

受講生の中で女子が1人という衝撃的な始まりからでしたがそれも気にすることなく楽しく講習を受講することができ、無事に4日間の日程を終えることができました。

受講の目的は試合出場に必要な資格だからと思っていましたがいざ受講してみると指導者としての役割だけでなく人とのコミュニケーションの取り方、練習計画や目標の立て方、スポーツ選手としての健康など、チームに持ち帰り共有したいと思う内容がたくさんありました。

綱引きは究極のチームスポーツだと思います。今回勉強した事をチームでも話し合い、共有することでよりチームワー

クが取れ心を1つに目標に向かって引く事ができるのではないかと思います。

最後に、一緒に受講した受講生の皆様、日本綱引連盟の講師・事務局の方々本当にありがとうございました。

講習受講後の1番の楽しみが試合会場で一緒に受講した方々と再会することです。

次は3月の全日本綱引選手権大会で皆様にお会いできるよう練習を頑張ります。



つなフェス 『それ引け！つなひきスクール』



この事業はスポーツ振興くじ助成金を受けて開催しました！

スポーツKL



つなフェス「それ引け！つなひきスクール」in 広島 ～一本の綱が繋ぐ心の絆。競技綱引の魅力を体感～

開催日：2025年8月31日(日)
開催場所：くすのきプラザ 認定こども園
　　つばめホール(大ホール)
主催：公益社団法人 日本綱引連盟
主管：広島県綱引連盟
後援：府中町教育委員会、広島県、
　　(株)テレビ新広島、(株)ちゅびCOM
来賓：衆議院議員 岸田文雄夫人 岸田裕子様 他

2025年8月31日(日)、広島県安芸郡府中町の「くすのきプラザ(認定こども園つばめホール)」にて、公益社団法人日本綱引連盟主催による『2025年度 つなフェス「それ引け！つなひきスクール』が盛大に開催されました。

本イベントは、運動会の定番種目として親しまれている「綱引」を「競技綱引」として体験し、その奥深さと楽しさを伝えることを目的として昨年度より実施されているものです。当日は、地元の小学生から高校生、その保護者の方々など約85名(見学者含め約100名規模)にご参加いただき、会場は熱気と歓声に包まれました。

開会式・ゲストの参加

開会式には、公益社団法人日本綱引連盟の石井良之会長はじめ、広島県綱引連盟の前垣壽男会長、そして来賓として岸田裕子様(岸田文雄衆議院議員夫人)をお迎えし、華々しくスタートしました。競技としての綱引の普及にかける主催者の熱い想いが、冒頭から会場の空気を引き締めました。

台湾からの特別メッセージ

特筆すべきは、綱引強豪国である台湾からのゲスト(方裕翔氏)によるスピーチです。「日本は台湾の綱引にとって『親』のような存在であり、目標である」という敬意のこもった言葉に加え、台湾では小学校から大学まで全国大会が存在し、非常に競技人口が多いという現状が紹介されました。

「来年台湾台北で開催される世界インドア綱引選手権大会で、また日本と戦えることを楽しみにしている」というエールは、参加者たちに綱引が世界につながるスポーツであることを強く印象付けました。



■ 実技指導・体験会

指導は、一瀬さとみ理事(日本綱引連盟理事・公認綱引コーチ1有資格者)および井上隆生氏(公認綱引コーチ1有資格者)が担当しました。

最初は初めて握る本格的な綱に戸惑い、遠慮がちだった子どもたちですが、指導者からの「綱の引き方」「姿勢」「呼吸の合わせ方」のアドバイスを受けると、目に見えて動きが変わっていました。

「ただ力任せに引くのではなく、空を見上げるような姿勢で体重を預け、チーム全員でタイミングを合わさる」等の指導が進むたびに、「ウォー」「よし、僕たちも頑張って引こう！」会場には次第に力強い掛け声が響き渡り、本物の綱の引き合いによる「重み」と「一体感」を肌で感じる時間となりました。

■ 試合形式での実践

後半に行われた試合形式の引き合いでは、チームごとの作戦会議や円陣も見られ、白熱した戦いが繰り広げられました。

参加した子どもたちからは「もっと引きたい！」という声が多く上がり、当初は見学のみの予定だった保護者の方々も、子どもたちの熱気に感染され、飛び入りで一生懸命に綱を引く姿が見られました。

参加者の声と成果

参加者へのインタビューとアンケートからは、単なる力比べではない競技綱引の魅力に触れた驚きと喜びの声が多く寄せられました。



女子児童の感想:「掛け声があって、みんながまとまつたような感じがして、とても楽しかったです。」保護者の感想:「想像以上に厳しいスポーツでした。一人の力も大事だけど、みんなで息を合わせるのが難しいですね。」また、終了後には「楽しかった！」「また参加したい！」という感想が多く聞かれ、短い時間ながらも綱引の楽しさを十分に体験していただけたことが伺えます。

総括・今後の展望 本イベントを通じて、一瀬さとみ理事は次のように語りました。

「強い人が勝つのではなく、諦めた人がいるチームが負ける。それが綱引というスポーツです。」競技綱引は、個人の身体能力だけでなく、チーム全員の「心」と「タイミング」を一つにすることが勝利への鍵となります。この特性は、教育現場での協調性の育成はもちろん、企業のチームワーク研修など、社会人の組織力強化にも極めて有効です。

「競技綱引を知るきっかけになってもらいたい、地域のクラブチームへの参加や企業のチームワーク作りになどに活かしてもらうなど、次に繋がるように企画していきたい」という言葉通り、今回のスクールは単発のイベントに留まらず、地域社会や組織づくりに貢献する新たな一步となりました。

最後になりますが、開催にあたり多大なるご協力をいただきました府中町教育委員会様、ご後援各社様、そして運営を支えてくださったスタッフの皆様に心より感謝申し上げます。日本綱引連盟は、今後も「一本の綱」を通じて、人々の心をつなぎ、健康で活力ある社会づくりに貢献してまいります。

つなフェス「それ引け！つなひきスクール」in 群馬県伊勢崎市

開催日：2025年9月13日(土) 9～12時
開催場所：あいおいしんきん伊勢崎アリーナ

スケジュール：

- ①受付
- ②ガイダンス
- ③準備運動
- ④綱に触ってみよう
- ⑤綱の持ち方・基本姿勢のレクチャー
- ⑥練習
- ⑦アスリートによる見本
- ⑧実際に試合をしてみよう

指導者：

日本綱引連盟理事/技術審判委員長 安齋一二

サポートアスリート：

進友会のみなさん
その他、多くの審判員、役員の皆さんにご協力いたきました！

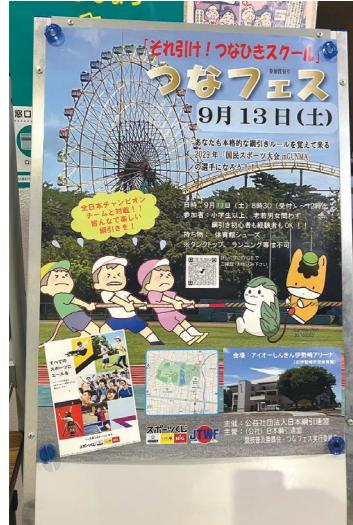
9月13日(土)あいおいしんきん伊勢崎アリーナ(群馬県伊勢崎市)において、今年で3回目の開催となります“それ引け！つなひきスクール”が開催されました！

参加者は小学生、運営スタッフとして関東ブロック、東北ブロックから多くの方のご協力をいただき、つなひきスクールスタート！

日本綱引連盟理事(技術審判委員長)の安齋講師の説明、そして今回もチーム進友会のアスリートの皆さんサポータースタッフとして参加いただき、子供たちへ優しくアドバイスをおくっていました。そんな進友会の皆さんの実践は子供たちにとって憧れ…

早くあんなふうに引けるといいな、という気持ちを胸に、がんばって綱を引いていました。

最後には運営スタッフも参加し、子供たちとつなひき。全員参加型のつなひきスクールでした！



つなフェス「それ引け！つなひきスクール」in 静岡県 牧之原アリーナ



がんばれー



ご来賓のみなさま



ひっぱられるー

開催日：2025年10月5日 子供：74名
開催場所：牧之原アリーナ 大人：72名
参加人数：総勢192名 お手伝い役員：46名

1. 開会式

参加者全員が集まり、開会のあいさつを行いました。みんなの笑顔があふれ、楽しい雰囲気で幕が開きました！



引くぞ！

2. 基礎技術講習

綱引きの基本的な姿勢や引き方、力の入れ方についての指導が行われました。プロのコーチ陣から直接学ぶことで、子どもたちも意欲的に取り組んでいました。

綱引きの基本的なテクニックについて、子どもと大人が一緒に学びました。基礎をしっかりと学ぶことで、全員が自信を持って取り組めるようになりました。

3. チーム分けと模擬試合

参加者をいくつかのチームに分け、模擬試合を実施しました！チームワークを大切にしながら、みんなが協力して勝利を目指す楽しさを体感しました！仲間と協力することの大切さを学んでもらいました。



ダンスパフォーマンス



ダンスも綱引もがんばりました！ありがとうございました



ひっぱられる大人



やるぞ



負けないぞ！



思っているよりも引けないぞ



楽しい～



相談



石山副会長



大人からちびっこまでみんなで力を合わせます



閉会式 楽しかった人～お忙しいなか牧之原市市長もご来場いただきました



日本綱引連盟 安齋理事と一瀬理事 綱引教えます😊

『日本綱引連盟 副会長・静岡県綱引連盟 理事長 石山なほみより』

どれほどの感謝を伝えたらいいのでしょうか。令和7年10月5日(日)静岡県でのつなフェス「それ引け！つなひきスクール」が無事に終了致しました。

1年前に決定したつなフェス、どこから手を付けて良いのか皆目見当もつかず、先輩開催県の方々からいろいろ教えて頂きました。それでも四苦八苦。一番の苦労はやはり人集めでした。実際参加〆切日には申込みが2組しかない状況であせりましたが、それから皆の力を最大限に動かし続けた結果、

人の輪の広がりは凄まじく、県連盟所属のチーム・役員はもとより、牧之原市長・教育長・市役所の方々、アリーナの職員、大人の参加賞を用意して下さった地元の企業、可愛いダンスパフォーマンスで会場を和やかにして頂いた幼稚園の皆様。

おかげで当日参加者も含めてすごい人数になりました。日本綱引連盟の皆様の全面協力を得て、一人の力は小さくても大勢の力は無限大なのだと心に強く響いた出来事でした。ありがとうございました。



よいしょー



最後にご参加皆さんとパチリ ✨

静岡県綱引連盟活動報告

連盟役員、所属アスリートの協力で
つなひきを楽しんでもらいました！



牧之原市榛原中学校 区特別支援学級交流会

開催日時 2025.12.2(火)

場 所 牧之原市立榛原中学校 体育館

牧之原市教育会特別支援教育部の企画で、牧之原市立榛原中学校区の中学校1校・小学校4校の特別支援学級在籍の児童・生徒が一堂に会し、楽しく交流することを目的とした会です。昨年から始まり、昨年度と今年度は、午前中の時間を使ってミニ運動会を行いました。各校児童生徒が4色のチームに分かれ、綱引きの他に、じゃんけんかもれっしゃや玉入れ、しっぽとり鬼ごっこ等を行い、楽しく触れ合うひと時を過ごしました。保護者の皆さんも参観してくださいました。



静岡県綱引連盟所属アスリートの皆さんがやさしく丁寧にレクチャーしてくれました！

感想

子供たちは、綱引きの師匠のアドバイスをしっかり聞いて、顔を上向きにし、しっかりと両足で踏ん張っていました。友達と力を合わせ、力いっぱい縄を引いた後は、勝っても負けてもみんな素敵な笑顔でした。子供たちを通して、綱引きの魅力を感じたひと時でした。

牧之原市立川崎小学校 増田雅子



名古屋駅地区綱引き大会 中日ビル綱引き大会

～愛知県・名古屋市綱引連盟活動報告～



秋晴れの空の下、名古屋駅地区と栄地区にて綱引き大会が開催され、企業・団体の多くの皆さんに参加され、熱気あふれる試合が繰り広げられました。迫力ある引き合いに観客からは拍手と歓声が上がり、会場全体が一体となる熱い雰囲気に包まれました。私たち愛知県・名古屋市綱引連盟も、大会の安全でスムーズな進行のために審判・サポートとして協力しました。選手の皆さんの真剣な姿に胸が熱くなり、地域がつながる素晴らしいイベントとなりました。

名古屋駅地区綱引き大会 結果

優 勝	(株) オープンハウス・ディベロップメント
準優勝	豊田通商 (株)
3 位	プルデンシャル生命保険 (株)、TOTO (株)



中日ビル綱引き大会 結果

優 勝	ALSOC (株)
準優勝	戸田建設 (株)
3 位	(株) 藤光／久野商事 (株)



名古屋駅地区綱引き大会2025 ★全体開催2年目！！

《開催日・場所》

(予選)令和7年10月1日	大名古屋ビルヂング	10月2日 ジェイアールセントラルビル
10月7日	JPタワー名古屋	10月21日 西柳公園(豊田ビル)
10月28日	西柳公園(名駅街協会員)	計52チーム出場

(決勝)令和7年11月13日 予選通過2チームずつ 計10チームが出場 《主催》名古屋駅街づくり協議会

中日ビル綱引き大会2025 ★栄地区初開催！

《開催日・場所》

令和7年10月23日 SAKAE HIROBAs 計9チーム出場 《主催》中部日本ビルディング株式会社

大会情報

2026全日本綱引選手権大会開催迫る！

2026年3月1日(日)駒沢オリンピック公園総合運動場体育館に於いて、予選会等において選抜された各都道府県代表チームが集結し日本一を目指します！観覧は自由となっておりますので、是非多くの皆さんのご来場をお待ちしております。目前で見る綱引競技は、迫力満点！お待ちしております！

日 時:2026年3月1日(日)
場 所:駒沢オリンピック公園総合運動場体育館(東京都世田谷区駒沢公園1-1)
開会式 9時(予定)

～詳細については日本綱引連盟HPにてご確認ください～

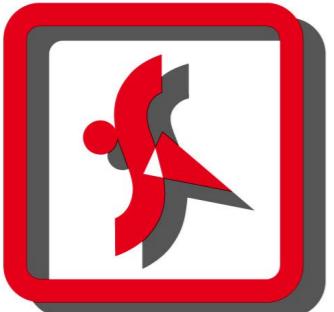
日本綱引連盟HP



2026 Taipei World Indoor Tug of War Championships

2026年3月12～15日 台北アリーナにて世界インドア綱引選手権大会が開催されます。日本代表として、2025全日本綱引選手権大会で優勝した男子の部:神戸消防(兵庫県) 女子の部:マドラーーズ大阪(大阪府)が出場いたします！世界大会の様子は、次号TSUNAにて掲載予定ですので楽しみにお待ちください。

両チームとも、がんばってください！！



スポーツ振興基金助成事業

この大会はスポーツ振興基金の助成を受けて開催されています。

独立行政法人日本スポーツ振興センター



日本綱引連盟公式サポーター ご協力のお願い



設立趣旨

現在当連盟では「日本綱引連盟公式サポーター」を立ち上げご加入いただき、応援してくださる方々を募集しております。この制度は、当連盟が寄付金の税額控除適用法人であることをご利用いただき、多くの企業や個人の方々のご支援をもとに青少年健全育成・国体正式種目早期実現・中高校生の部活動取り入れ・世界大会自國開催・選手人口増加に役立させていただいております。

日本綱引連盟は、これからも綱引き文化の継承・発展のため自治体や教育文化関係等の方々と協力し、活動して参ります。詳しくは当連盟スタッフより、ご説明させていただきますので、何なりとお申し付けください。

公益社団法人 日本綱引連盟
会長 石井 良之

募集要項

法人 30,000 円
個人 10,000 円

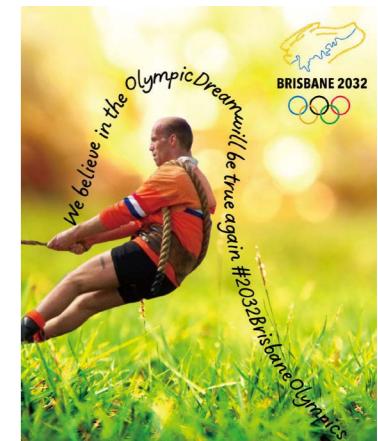
特典

- ①連盟発行 綱引情報誌のお届け
- ②オリジナル会員証の発行(個人)
- ③認定書の発行(団体)
- ④主催大会へのご招待
- ⑤大会プログラムへのご芳名掲載と
大会プログラム・大会記録冊子の進呈
- ⑥寄附金税額控除摘要(証明書の発行)

2032brisbaneworld Olympic種目となるか！？

国際綱引連盟(TWIF)より、綱引競技のオリンピック競技種目復帰を提唱する正式な提案書を、オーストラリアオリンピック委員会および2032年brisbaneworld Olympic委員会に提出したとの報告がありました。綱引競技の採用に向け、TWIF会長をはじめとする執行役員によって、オンライン会議やプレゼンテーションで素晴らしい競技の意義を訴え、アピールされました。現在も、オリンピック組織委員会との協議は続いております！

皆様も綱引競技の普及にご協力ください！そして、brisbaneworld Olympicで綱引競技が復活できるよう応援しましょう！進展についてはまたお知らせいたします。



2025全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会

大会日:令和7年7月27日(日)
会場:島津アリーナ京都

青春の雄叫び、綱を愛するチャレンジャー仲間を信じて引き寄せろ！灼熱の太陽の下、本年も引き続き全国各地から精銳25チームが千年の都、大都会京都へ整然と集結された。

競技方法は、決勝戦(5試合)のみ3セットマッチとし、他の競技はすべて1セットマッチで進行されます。いよいよ各チーム待望の競技開始となり、リーグ戦はAレーン及びBレーン同時進行で緊迫感漂う初戦から熱気溢れる試合が展開された。

各チームの監督・トレーナーの皆様におかれましては、若き選手達にフェアプレイ精神を徹底するようご指導いただき、全試合とも純粋、公明正大な試合内容で進行できましたことに敬意と感謝を申し上げます。また、地域のご父兄の方々による応援団も会場いっぱいに響き渡る大声援を送っていただき、感謝と御礼を申し上げます。

かくして、本大会は各競技に対するトラブル等は一切無く、最後の決勝戦まで無事に感動溢れるダイナミックコミュニケーションが展開でき、肃々と閉幕することができました。綱引競技をこよなく愛し、力の限りご支援・ご協力くださいました関係各位に、深甚なる謝意を表します。

感謝と思いやりのゲーム展開、誠にありがとうございました。

(秋田県綱引連盟 鈴木耕一)

これからももっと、
私はスポーツを楽しむんだ。

卓球歴24年。バスケ歴1日。

卓球の200倍もの重さがあるボールは、
なかなか言うことを聞いてくれない。

それでも、体を動かすだけで気持ちがいい。
初対面でもあっという間に仲間になれる。
競技人生での楽しさとは違う、
スポーツの楽しさに出会えた。



スポーツを極める人も、楽しむ人も、
すべての人のために、
スポーツくじの収益は使われています。

スポーツくじ   

スポーツくじは、スポーツと人を育てる仕組み。

⑩ 19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

各県連ならびに各チームの皆様へのお願い

本書の制作にあたり、必要な情報は右記宛先までご寄稿を賜りたく、
ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

宛先 E-Mail : seisekisan@gmail.com

住 所 : 〒010-1613 秋田市新屋朝日町 23-12

櫻庭 星治 宛

発行日 2026年1月27日

発行 公益社団法人 日本綱引連盟



〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 408号

[TEL] 03-5843-0457 [H P] <https://www.tsunahiki-jtjf.or.jp/>

公益社団法人 日本綱引連盟

[MAIL] jtjf@tsunahiki.net